

今後の対応方針、検討の流れ、検討スケジュール

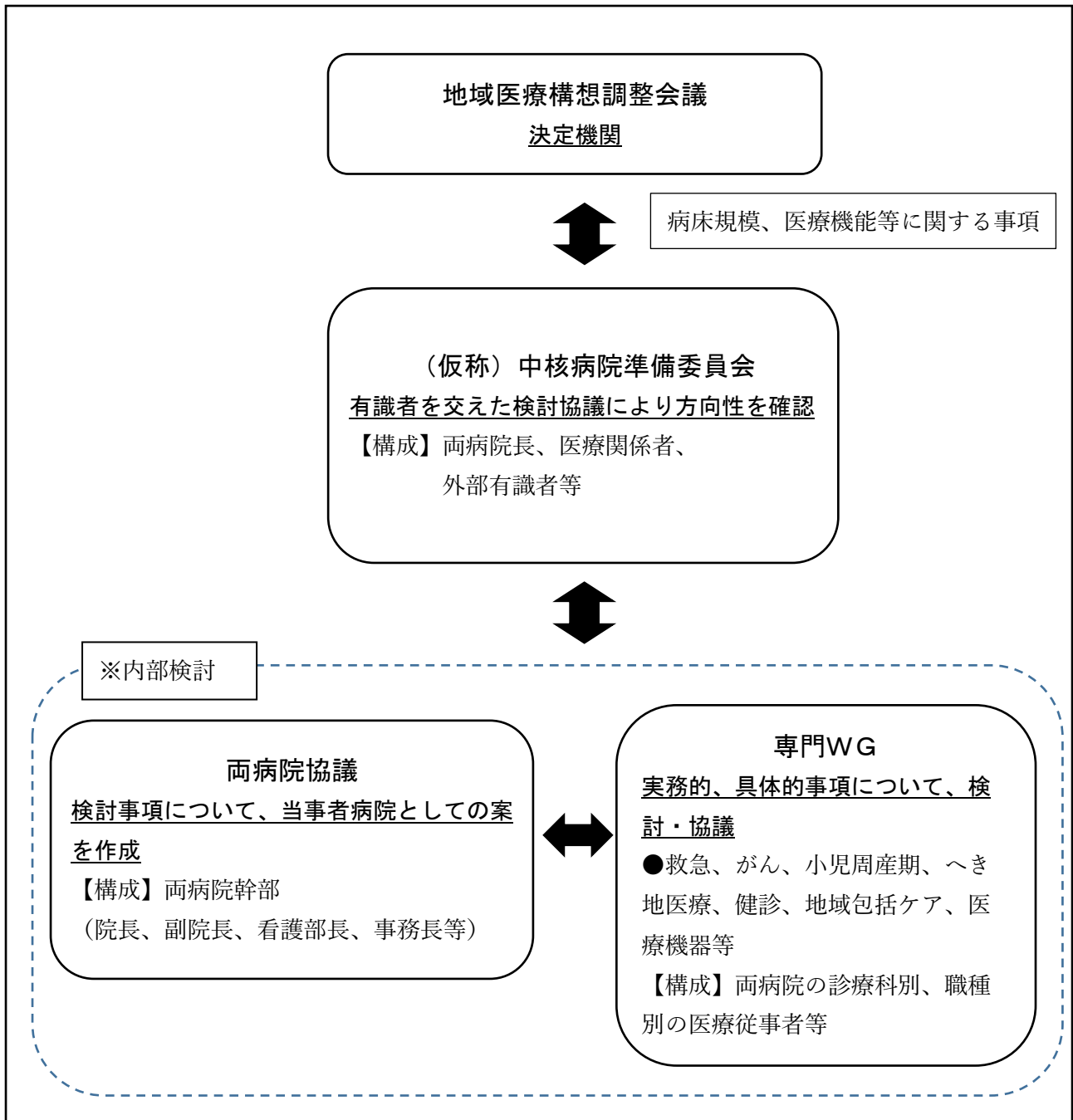
1 今後の対応方針

前市長のもと、中核病院形成検討委員会で検討、協議を重ねられ、確認された事項などは十分に尊重し、検討

項目	確認・仮設定された方向性	今後の方向性等
①基本的な方向性（主なもの）		
目指す病院像	「市民の皆様にも親しまれ、信頼される病院」	開設時期を変更 （令和6年4月1日を目標） その他は変更なし （ただし、環境の変化等により時点修正等が必要な事項については適宜反映）
開設時期	令和5年4月1日を目標	
中核病院として担うべき医療の確保	①がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病 ②救急医療 ③周産期医療 ④へき地医療 ⑤災害医療	
市民が安心して暮らせる医療の提供	①在宅医療 ②予防医療 ③地域の医療機関との機能分担と連携 ④感染症対策	
診療機能の維持	これまで両病院が提供してきた診療機能やサービスについては、統合後の病院の機能と地域連携を通して、患者等利用者に不利益が生じないように配慮	
高い技術と志をもった人材の育成・確保	①若手医療従事者の育成・確保 ②専門性及び医療技術の向上	
②経営形態		
	地方独立行政法人	変更なし
③病床規模・医療機能等		
	病床規模 250床程度 （急性期190床程度、回復期60床程度（地域包括ケア30床、回復リハ30床）） 医療機能等（診療科目・個別の医療機能等） 現行の診療科を基本としつつ、データ分析やWG等を踏まえ中核病院のあるべき姿について検討	環境の変化等を踏まえて 継続検討
④機能分化・施設活用の方針		
	経営統合時は両病院の施設を活用するが、できる限り効率的な体制へと移行	今後検討

2 検討の流れ、今後の検討スケジュール

(1) 検討の流れ (案)



(2) 今後の検討スケジュール (想定)

- 別添のとおり